

## 令和2年度の「新体力テスト」の結果から

帯広市立東小学校

スポーツ庁では、新型コロナウイルス感染症に係わる学校への影響等を考慮し、令和2年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査を実施しないこととしましたが、本校では、継続的な課題である児童の体力・運動能力の状況について、新型コロナウイルス感染症による臨時休業の影響も含めて把握し、授業改善等に生かすことができるよう、新体力テストを実施しました。記載内容は令和元年度体力・運動能力調査との比較です。

<ねらい>

- 児童一人一人の体力を把握するとともに、その状況を児童はもとより、家庭にも伝えながら計画的・継続的な指導を行っていく。

<今後の取組について>

- 子どもにとって心身の健やかな成長を大切にしていきたい。
- 体力の向上の取組を学校全体でより一層効果的に展開していきたい。
- 本校の分析は下記のとおりです。
  - ・ 本校児童の優れている力、課題となる力
  - ・ 今後の取り組んでいきたいことについて
- 学校だより等でお知らせし、保護者・地域と協力して取り組んでいきたい。

### 「新体力テスト」の結果から

<種目>

- 例年行われている「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」は5年生を対象に実施しています。
- 本校の5年生男子は8種目のうち“握力”“長座体前屈”“反復横とび”“立ち幅とび”で全国平均値を上回り、“ソフトボール投げ”で全国平均値と同等でした。その他の種目では全国平均値を下回ったものの、柔軟性・筋力・跳躍力に優れていることがわかりました。この結果は、全学年にほぼ共通する結果となりました。
- 5年生女子は8種目のうち“握力”“長座体前屈”“立ち幅とび”で全国平均値を上回り、“反復横とび”で全国平均値と同等でした。その他の種目では全国平均値を下回ったものの、柔軟性・筋力・跳躍力が高いことがわかりました。この結果は、全学年にほぼ共通する結果となりました。
- また、男女とも、20mシャトルラン・50m走が全国平均値を大きく下回り、全身持久力や走力（疾走能力）に課題があることがわかりました。

- ① 握力 ② 上体起こし
- ③ 長座体前屈 ④ 反復横とび
- ⑤ 20mシャトルラン
- ⑥ 50m走 ⑦ 立ち幅とび
- ⑧ ソフトボール投げ

- 今後具体的に取り組んでいきたいことは・・・。

- ① 体育の目標やねらい、振り返りを意識して、子どもたちが楽しさや達成感を味わうことができる“汗をかく体育”に加え教育活動全体を通じた継続した体力・運動能力向上の取組
- ② 自らの体力の傾向をつかみ課題を解決していくためのめあてづくり
- ③ “サーキットトレーニング”“体力づくり月間”の取組
  - ・ 学校にある遊具や簡単な道具を利用したコース利用による体力アップ
  - ・ 1校1実践による体力向上の取組、休み時間等における外や体育館での遊びの定着
  - ・ 児童会を中心として企画する体力づくりの取組
- ④ 地域との連携
  - ・ スケート教室、長縄とび大会などへの参加の呼び掛け
- ⑤ 家庭との連携、生活習慣や食育など
  - ・ 生活リズムを整える「早寝・早起き・朝ごはん」の呼び掛けと給食指導や食育の充実

- 今後も、体力・運動能力のさらなる向上に努めるよう全校で取り組んでいきます。